

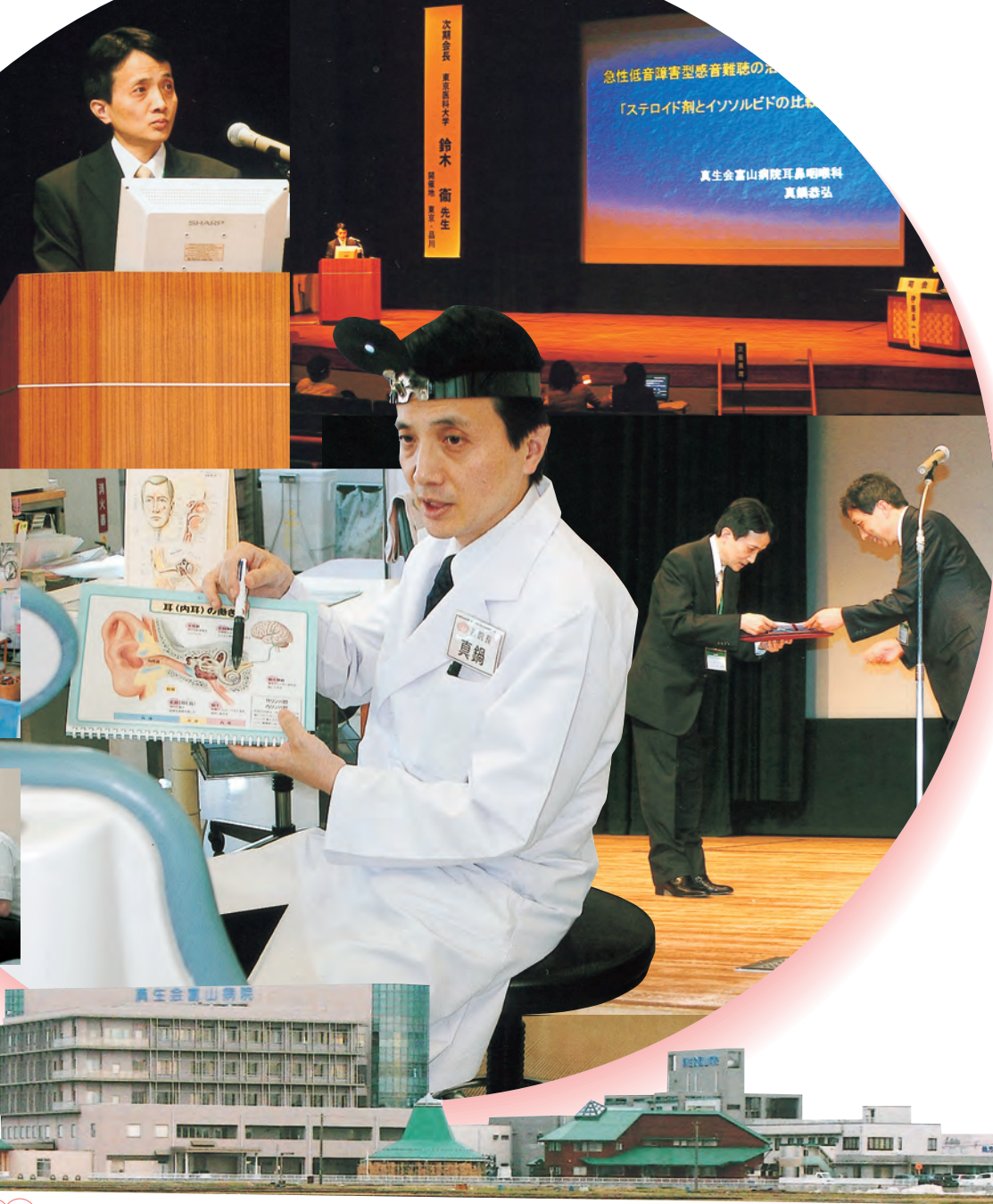
わ げん あい ご

和顔愛語

2006
VOL.8

真生会富山病院だより

「急性低音障害型感音難聴」は、ストレスや疲労が引き金となり、耳に水が入ったような不快感や耳鳴りなどの症状を起す内耳の病気であるが、難聴が発症するメカニズムは、よくわかっていなかった。真鍋恭弘院長は、この疾患の原因が、内耳に起きた軽度の炎症であり、対炎症作用のあるステロイド剤の投薬治療が最も有効であることを臨床研究で突き止めた。真鍋副院長の研究論文は、日本耳鼻咽喉科臨床学会の年間最優秀論文に選ばれ、同学会総会で表彰された。



BBT 富山テレビ放送さんの取材の様子

北日本新聞さんの取材の様子

患者様も参加 川柳募集

interview

情熱の白衣 副院長 耳鼻咽喉科医師 **真鍋 恭弘**

●インタビューー 看護部 わかば病棟 師長 **加藤 礼**

在宅医療を安心して受けられるように

内科医師 **二村 明広**

医療安全管理室 **鎌中 俊晴**

医療全体の取組みについて



ご案内

Information

診療案内

診療科
内科・消化器科・外科・小児科
整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科
眼科・心療内科・精神科・神経科
麻酔科・リハビリテーション科
放射線科・泌尿器科・歯科

診療日・外来受付時間

平日 午前8時30分～午前11時30分
午後4時30分～午後7時30分
(内科のみ) 午前8時30分～午後7時30分
土曜日 午前8時30分～午前12時
休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

24時間救急診療

全科往診在宅診療

保険証は、毎月提示をお願いしています。必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としております。当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局でお薬をお受けとってください。

24時間救急診療のご案内

真生会富山病院では、診療時間外の急な病気に対し、年中無休で24時間日当直医が対応しております。

平日 午後7時30分から翌朝9時まで
土曜日 午後12時から
日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話
☎ 0766-52-2156
※来院する前になるべくお電話を。
※保険証は忘れずお持ちください。

放射線課

安全で安心の検査を目指します

放射線課は診療放射線技師8名が日夜業務を行っています。
仕事内容は、一般撮影・透視・CT検査・MRI検査などの画像検査です。一般撮影と言ふとあまり聞きなれませんが、レントゲン撮影のことです。透視の検査は、バリウムで胃や小腸や大腸を検査します。CT検査は、CT装置のドーナツ形の中心に体を入れてエックス線をあてて体の中の様子をコンピュータで処理し画像化(写真)する検査です。MRI検査はCT検査と似ていますが、CT検査は放射線を使うのに対しMRI検査は磁力を使います。MRI装置はドーナツ形の大きな磁石とお考えください。この中心に体を入れて、それからFMラジオに用いられる電波を体に当てて、体の中の様子を画像化(写真)する検査です。体のタテ、ヨコの鮮明な断層写真が得られます。

このように放射線課には、多くの検査装置・機器があり、故障し検査が出来なくなるとは困るので管理を徹底的に行うようにしています。そのため放射線機器管理士を中心に点検事項を決めて、毎朝仕事の始めに全ての装置の始業点検を行っています。業務中も細心の注意を払い異常があれば早期に発見できるように心がけています。また、放射線管理士を中心に安全で質の高い検査が出来るように被曝の低減化にも努めています。

日々進歩する医療に遅れないよう放射線課スタッフ一同、これからも知識や技術の向上に努め、より安全で安心の検査を目指します。

放射線に関するご相談・ご質問は遠慮なく放射線課までお問い合わせください。



放射線課課長 **平田 昭美**



業務の様子



放射線課スタッフ

「透析室」開設のお知らせ

平成18年12月1日より、外来にて透析治療を開始いたします。腎臓病で人工透析の必要な方や詳しいことをお聞きになりたい方には、総合受付にてご案内しております。

日本内科学会教育関連病院に

7月22日付けで、日本内科学会 教育関連病院に認定されました。これにより、認定内科医、認定内科専門医が取得できる病院となりました。当院は、日本眼科学会、日本皮膚科学会 専門医制度研修施設にも認定されています。

糖尿病・肝臓教室

開催のお知らせ

糖尿病・肝臓病の基礎知識、日常生活の注意点、食事など、毎回異なる内容を、医師、看護師、管理栄養士などがそれぞれの立場から説明いたします。糖尿病、肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方、ご家族の皆様もお気軽にご参加ください。

糖尿病教室は、毎月、第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時
肝臓教室は、毎月、第3土曜日 午前10時～午前11時
新館5階大講堂で開催されます。

●糖尿病・肝臓教室に関するお問い合わせは…
TEL0766-52-2156 新館1階「総合受付」まで

新規事業拡張につき

スタッフ募集

- 正看護師** … 10名
- 視能訓練士** … 若干名
- 歯科衛生士** … 若干名

●院内保育施設あります。応募資格/免許有資格者(取得見込みを含む)
※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。
●スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL0766-52-2156 人事担当/吉田

副院長
耳鼻咽喉科医師 **真鍋 恭弘**

●インタビュー
看護部 わかば病棟 師長 **加藤 礼**

患者様の身になって、 苦痛を親身に受け止められるような医師に

医療の多くの部分は患者様の我慢に支えられて成り立っています。これからの医療には、患者様の我慢が少しでも減らせる工夫と努力が必要だと思っています。

医学の道に進まれたきっかけと、どうして耳鼻咽喉科の医師を志されたのかお聞かせください。

私は子供の頃はとても病弱で、よく熱を出して休んでいました。通っていたのは、先生と看護師の奥さんの二人で切り盛りされているとても小さな医院でした。毎日たくさんのお子様であふれ、待ち時間はとても長かったのですが、どんなに熱が出て辛い時でも、その医院にいるだけで安心できました。先生は清潔感と威厳と優しさを備えた方で、自分も将来は、こういう人になりたい、と漠然と考えていました。高校時代、父からは医者をお勧められていましたが、反抗心からか、大学は工学部に進みました。とくに目的もなく入った学部だったので、失敗したなと後悔していた時、仏法を聞くようになって、人の生命の尊さを知らされ、医学の道に進路を変更しました。医者になりたいと父に進路変更を申し出た時、小言一つ言わず喜んで許してくれました。入学してすぐでしたから、入学金など全部



副院長
耳鼻咽喉科医師 **真鍋 恭弘**

【専門分野】
耳の手術、睡眠時無呼吸症の治療
いびき手術、発声障害、心因性耳鼻科疾患
アレルギー性鼻炎のレーザー治療
【認定医・専門医】
日本耳鼻咽喉科学会専門医、医学博士

パーになったわけでホントに申し訳なかったです。耳鼻咽喉科は、とくに聴覚に興味があったので選びました。耳の手術は、長さ2ミリか3ミリの耳小骨を組み立てて音を聞こえるようにする、とても細かいですが、醍醐味のある手術なんです。手術で音がよみがえるのですから、すごいドラマチックじゃないですか。

これまで「仏法精神」に基づいた医療をどのように実践してこられたのですか。

実践なんて出来ていないので反省ばかりですが、患者様の身になって、苦痛を親身に受け止められるような医師

になりたいと思っています。形だけでなく、心からそう思えるように努力をして行かねばならないのですがなかなか難しいです。しかし、心配した患者様ほど治療が不思議とうまく行くように思います。仏法では、心の行いをもっとも重視します。まず、「よくなってもらいたい」という強い心の思いが、いろいろなものを良い方向に動かすのだから、と感じています。

医師になられてから、忘れられない患者様や、心に残った出来事などあれば教えてください。

大学院を卒業する時に、「When you do not know what to do, Do nothing!」と

「人の体(生命)はかけがえがない、

いい加減な気持ちでメスは持つなよ」

という言葉は恩師の教授から送られました。直訳すると「知らなかったら、何もするな」という意味になります。手術などの時、わからないのに、無謀に手を進めてしまつてはとんでもない過ちを犯してしまいます。患者様の体は一つしかなく、誤って傷つけては二度と元には戻りません。もちろん「自信がないからといって、簡単に手術を中途半端で終わって良い」という意味でもありません。「人の体(生命)はかけがえがない、いい加減な気持ちでメスを持つなよ」という意味と解釈しています。ですから、手術前には徹底して予習をし、分らないことがない状態で臨む習慣ができました。

ゆっくりじっくりお子さんの目を見て話すことも大切ですね。子供の視線で、とてもまっすぐですから、目を合わせると心の線も合わさる感じがしてきます。

真鍋副院長の研究論文が、日本耳鼻咽喉科臨床学会の年間最優秀論文として北陸三県で初めて選ばれましたが、お忙しい中をどのように取り組まれたのですか。

論文を書くということは、積み木を積み上げて行くような作業なんです。一番高いところを積み上げるまで、集中しておかないと、途中で崩れてしまつて、一からやり直しになることがよくあります。しかし、集中を持続するまとまった時間はないので、自分では、真鍋式と呼んでいるのですが、集中力を持続しなくても、積み上げた積み木が崩れないような方法を考えました。細かいやり方は、時間の都合で省きますけど、企業秘密じゃないので興味があればいつでも聞きに来てください。あとは論文のテーマ選びが大切です。論文のテーマは、誰もやっていない新しいことでないといけません。と大事なことは、より多くの人が知りたいて思っていることです。こちらの方がより重要です。今回のテーマは私自身が研修医の頃から、疑問に思ってきたこと

何でも良いので、目標を設定し、到達した達成感を味わうことがストレス解消には一番良いのではないのでしょうか。なんにもやらないというか、何も成果が出ない状態ほどストレスのかかることはないでしょう。この本を3日で読もう、と思つて、超速読でも達成すればスッキリできますね。

副院長として、今後の抱負や医療が抱える課題の解決に向けた取り組みなどお聞かせください。

医療品質管理部を担当しています。医療の品質とは、患者様満足度と安全性のことです。飛行機の事故を心配して、乗らない人はあつても新幹線の事故を心配して乗らない人はいません。新幹線がそれだけ信頼され、皆、安全を信じ切っているからです。日本の医療もそこまで安全度を高めないといけないと思います。次は、満足度。今でも、医療の多くの部分は患者様の我慢に支えられ成り立っています。これからの医療には、患者様の我慢が少しでも減らせる工夫と努力が必要だと思っています。病院の努力だけでは難しく、医療制度の仕組みから問題が多いですが、あきらめずに取り組んで行きたいですね。

子どものペースに合わせて、ゆっくりと優しく話しをすることでしょいか。耳鼻科の処置は、痛いのではないかと、恐がる子が多いので、痛くないように、できれば、耳鼻科の処置はおもしろいと感じてもらえるくらいの診療を心がけています。



看護部 わかば病棟 師長
加藤 礼

「9月から、わかば病棟師長の任を頂きました。患者様のところに伺いますと、私たちの至らないところについて遠慮されてなかなか言われないことが多いことに気づきます。人に2つの耳と1つの口があるのは、話すことの2倍聴きなさい、という意味だと教えてくれた人がいます。積極的に患者様の声を聴き、慕われる看護師をめざしていきたいと思ひます。

充実した療養生活を送って頂ける 在宅医療をお届けします。

●自宅療養の方々へ、訪問診療・訪問看護・訪問薬剤管理指導・訪問栄養食事指導・訪問歯科診療を提供し、患者様の生活の質や生活機能の維持、向上をサポートしています。また、介護保険等による在宅介護サービス、訪問看護ステーション「こころ」と連携し、生活面を整え、より充実した療養生活のお手伝いをしています。

●通院が困難な方、寝たきりのお年寄りの方、長期の療養を住み慣れた地域、自宅で送りたい方などに、医療機関が予め診療計画を立てます。医学的、医療的管理に基づき、定期的に医師が患者様のお宅を訪問し、診察や検査、治療を通じて患者様の健康維持に努めます。

●ご利用対象

●寝たきり状態で通院が困難な方 ●自宅での療養を希望される方 ●がん末期、難病重度障害の方 ●退院した後のケアが必要な方

●対象エリア

射水市全域を想定範囲としております。往診可能かどうか、ご相談ください。

●病院との連携体制

患者様には24時間、365日、電話連絡体制をとっています。ご容態が悪化したとき、入院が必要な場合はご相談ください。地域協力病院との連携体制をとっています。

●費用について

各種健康保険の適用により、自己負担分の費用負担があります。

●介護保険

訪問している方の主治医の意見書の作成、ご利用者様からの相談も承ります。

●医療相談

在宅医療に伴う介護、医療などの相談に、ソーシャルワーカー（医療相談員）が専門知識をもって直接対応いたします。



内科医師
ふたむら あきひろ
二村 明広

【専門分野】
腎臓・循環器疾患、腎炎
ネフローゼ疾患、透析治療
【認定医・専門医】
日本内科学会内科認定医
日本腎臓病学会認定医
日本透析医学会認定医
医学博士

過日、日本在宅医療研究会学術総会に出席し、シンポジウムで「真生会富山病院の在宅医療の現況について」と題して発表。大変な反響を呼び、研究論文も提出し、在宅医療に力を注ぐ。

在宅医療とは、病院へ通院することが困難な患者様に対して、医師を中心にチームでの在宅医療体制を確立し、定期的、計画的に自宅へ訪問し、診察、処置、療養指導など、患者様の健康管理を行うことです。これまで入院しなければ受けられなかった医療が日常生活に合わせて安心して受けられます。

真生会富山病院は、開院時から在宅医療に力を入れてきました。私たちに、在宅医療のノウハウがたくさん蓄積されています。当院の在宅医療を受けた患者様から「もっと早く知っていたらいい」という声を聞く度に、もっと多くの方に「在宅医療」の存在を知っていただきたいと思えます。患者様の不安や心配を取り除いて、「地域に密着した医療」をめざし、患者様がご家族と共に質の高い医療を受けながら充実した療養生活を送ることができるよう積極的に取り組んでいます。

質の高い医療を、身近で！
在宅医療を安心して受けられるように

Q&A 在宅医療

Q 「在宅医療」って何ですか？

A 在宅医療には、医師がご自宅に訪問し診療する「訪問診療」、看護師による「訪問看護」、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による「訪問リハビリテーション」、薬剤師による「訪問薬剤管理指導」、栄養士による「訪問栄養食事指導」、歯科医師による「訪問歯科診療」などがあります。

Q 「往診」「訪問診療」の違いは？

A 患者様の依頼で医師が出かけて行くのが「往診」、診療計画を立て、医療的管理に基づいて、定期的に訪問するのが「訪問診療」です。

Q 訪問診療はどんな医療サービスが受けられるのですか？

A 医師の継続的な医療管理として、定期的な健康相談、診察、検査（血液尿・心電図など）を行います。高血圧、糖尿病などの慢性疾患に対する定期的な処方、かぜや便秘、下痢など日常的によくある症状への対応、点滴、床スレなどの処置や経管、中心静脈栄養法、酸素療法、人工呼吸器の管理など、自宅で受けることができる医療サービスは多岐にわたっています。

Q 誰でも在宅医療を受けられますか？

A 在宅医療の対象となる条件は、「継続した診療が必要であり、何らかの理由で通院が困難な方」です。患者様やご家族の希望があれば、ほとんどの場合、在宅医療が可能です。たとえ合併疾患が存在しても、院内各科と協力体制をとり、要望にお応えしています。また、在宅医療は保険診療ですので、通常の外来診療と同じように、診療にかかる費用の自己負担分（高齢者の場合は1〜2割）をお支払いいただきます。各種公費負担や高額払い戻しも同様に使用できます。不明な点はお気軽に「ご相談ください」。

Q 自宅で高齢に調子が悪くなったときが心配です。

A 在宅医療の患者様が安心して暮らせるよう、365日、24時間体制で真生会富山病院（医師や看護師が対応しています。ご連絡をいただければ、往診での診療、入院などの対応を医師が判断し必要な治療を受けられるよう調整いたします。

Q 実際に在宅医療を受けたいのだけど、どうすればいいの？

A ます、かかりつけ医までご連絡ください。在宅医療は、医師、看護師、ケアマネジャーなど、病気の治療にたずさわるスタッフによりよい治療をめざします。当院では射水市全域を医療範囲として、専門のスタッフが対応させていただきます。

●この件のお問い合わせは 真生会富山病院 TEL0766-52-2156 FAX0766-52-2197

【日本耳鼻咽喉科臨床学会 年間最優秀論文】 急性低音障害型感音難聴の治療法

副院長 まなべ やすひろ
耳鼻咽喉科医師 真鍋 恭弘

急性低音障害型感音難聴とは

急性低音障害型感音難聴は、ストレス社会の中で年々増えている疾患で、発症率は100人に一人と言われる。従来は、内耳の炎症のほかに、内リンパ水腫などが関連しているとされ、内耳のむくみを取るため利尿剤を投与するなど、医師により治療はまちまちだった。外来を受診した症例について約10年間、ステロイド剤の使用量を変えた4グループと、利尿剤を使ったグループの計5グループに分けて治療した。その結果、ステロイド剤を飲み薬として通常投与した場合の聴力回復の経過が最も良好であることが分かった。急性低音障害型感音難聴は、適切な治療をしないと、めまいなどを伴う内耳慢性疾患のメニエール病に移行することがある。初期治療の段階でステロイド剤を用いることで慢性化を防止でき、メニエール病への移行も食い止められる。

〈症状〉

次のような症状が出ます
・耳に水が入ったような感じ
・まわりや自分の声が響く
・「ゴーツ」という低い音の耳鳴り など

〈原因〉

睡眠不足、ストレス、体の慢性的な疲れ、風邪などが原因で起こります。

〈どこが悪いのか〉

内耳の中でのリンパ液の流れが滞って起こる病気です。心や体の疲れが耳に来た状態とも言えます。

〈治療〉

1、疲れをとる
睡眠不足、ストレス、体の慢性的な疲れなど心当たりがある場合は、普段よりもゆっくり休むことが大切です。

2、飲み薬での治療

次のような飲み薬を病状により適宜調整して処方します。

●ステロイド薬

内耳のむくみの原因になっている炎症を治します。

●血液循環改善剤

内耳の血液の流れを良くします。

●利尿剤

内耳のむくみを取るための薬です。

●漢方薬

全身の体調を整えます。

〈経過〉

早い人は10日か14日ほどで治ります。治療の途中で聴力が変動する方は、1ヶ月から数ヶ月かかります。めまいがある場合は、メニエール病という内耳の慢性病の初期のことがあり、もう少し治療期間が必要です。

受賞論文のポイント

急性低音障害型感音難聴の治療薬は、何が良いのかわかっていなかったため、医師が各自の思いで処方していました。今回の研究では、約250名の患者さんに5種類の薬を処方して、どの薬がもっとも良いか、突きとめることができました。

また、治療の経過を分析することで、この病気のメカニズムを解明するきっかけとなる事実も見つかりました。



第68回耳鼻咽喉科臨床学会
学会賞受賞記念講演

これまで効果的な治療法について見解が分かれていた、急性低音障害型感音難聴の治療法で、最も有効なのはステロイド剤の投薬治療とする論文をまとめた。真鍋副院長の論文は、日本耳鼻咽喉科臨床学会の年間最優秀論文として北陸三県で初めて学会賞に選ばれ、同学会総会で表彰された。

真生会富山病院における 医療安全の取り組みについて



医療安全管理室 副主任
かまなか としはる
鎌仲 俊晴

医療安全管理室は、医療安全を担う部門として平成18年4月1日より医療品質管理部に新設されました。医療の安全委員会、医療安全の運営、医療安全管理体制の構築、医療品質に関わる問題事項への対応などを行っています。



点滴ボトルのバーコードの読み取り

手首のリストバンドのバーコードを確認

バーコードリーダーの活用

当院ではインシデント報告を制度化しており、毎月の医療安全委員会において特に重要性の高いインシデントを取り上げ、「分析、評価、対策」を行っています。委員会ではインシデントの発生源が考えた対策に対し、更にもう一歩踏み込んだ対策を打ち出す場合があります。

患者名ラベルにはそれぞれバーコードが印字してあります。看護師はバーコードリーダーでそれぞれのバーコードを読み取り、合致することを確認してから点滴を実施します。5月より二病棟のうち一病棟で開始し、効果が確認できれば両病棟に拡げる予定です。

入院患者様が手首に巻いているリストバンドと点滴ボトルに貼ってある点滴ボトルのバーコードを読み取り

看護部 基準部会

看護師一人ひとりが 質の高い看護サービスの 提供に取り組んでいます。



定例会の様子

「看護基準」と聞いて、それって何？と言われる方が大半ではないでしょうか。看護基準とは何か、なぜあるのか、看護部の基準部会で何をしているのかをお話したいと思います。



「真生会富山病院の看護師は、こんな看護サービスを提供します」と示したものが看護基準です。そして、看護の方向を見失ったり、患者様や家族が必要とされている看護が充分にお届けできているかどうかを立ち返り反省して、見直す為にこの看護基準を使用します。基準がないと、「あの看護師は、行ってくれたのに、この看護師は行ってくれない」という不満もつながりやすくなります。

近年、医療の世界は激動の真っ只中にあり、ますます医療の質が問われる時代になってきました。医療への関心は高まる一方で「質的保証」に向けた取り組みが求められています。そして、患者様やその御家族も積極的に医療に参加する時代に突入しており、私たち看護師一人ひとり、看護の責務を果たしているかどうかを評価し、よりの質の高いサービスへと改善していきたく思っています。

今後、医療の質を保証し安全を提供しながら、患者様の心へ寄り添い、受け取り手が満足される看護を行っていきたく思います。私たち基準部会は、取り組んでいきたいと思っています。

ちょっと一言

患者様へのサービス向上に向けて

「電子化に向けての取り組みの一環として、9月1日より院内のコンピュータを新しいものに入れ替えました。慣れないために会計計算の待ち時間が増える等、ご迷惑をおかけしており申し訳なく思っております。今後、患者様へのサービス向上に貢献できるようより一層努力してまいります。ご理解よろしくお願い致します。



医事課 やまもと かせい
山本 佳栄子

待ち時間対策 職員の意識改革に川柳募集 患者様も参加

サービス支援室 室長 きくら 木倉スミ子

待ち時間の短縮・改善は病院の永遠の課題とも言われます。当院でも以前から改善に努めていますが、なかなか思うようにはいかず、患者様に大変な負担をおかけしています。

そこで対策として、医師の増員、システムの改善、環境整備(生花・雑誌類の充実など)、職員の対応の向上などに取り組んでいます。

しかし、まずは職員の意識改革が必要です。その一環として6月、7月と待ち時間に対する川柳を募集、95点の作品が寄せられました。その後作品の一部を掲示しつつ、患者様にも投稿を呼びかけたところ、次々と思いが寄せられました。いくつご紹介させていただきます。



職員

忙しさ 顔に出さない プロ意識
手を止めて心をこめて「お大事に」
スムーズな流れも一つの治療薬
「あと何分？ 分からぬことが 苦痛なの」

患者様

看護婦に だだをこねたい 登さがり (とっちゃんぼうや)
〇〇さん 呼ばれてみんな 顔上げる (詠み人知らず)
待ち時間 読書の速度 最高だ (シンイチロウ)
椅子にかけ ベッドがほしいよ 待ち時間 (とっちゃんぼうや)

これからも患者様の率直なお気持やご意見を汲み取りつつ、待ち時間の改善に努めて参りたいと思っております。

私のおすすめ SPOT



庶務課 わかき みか
若木 美佳

私のおすすめするお店は、『道の駅 新湊』です。特産品・海産物・おみやげ品などを販売している他、県内の新鮮な食材を使ったレストランもあります。そのレストランの中でもいおし☆なのは、『海老フライ定食』です。海老がとても大きく、お皿からはみ出るくらいです。そんなビッグ！な海老が2本もついていて、食べ終わる頃にはお腹いっぱいになります。みなさんもぜひ食べてみてください(^o^)/



「道の駅 新湊」は、物産販売所、レストラン、喫茶軽食コーナー、交通情報、地域観光情報提供室などを備え安心して楽しめるコミュニティスポットです。特に、地元の食材を使った料理を味わえるレストランは、和食を中心とした定食が豊富に揃っています。特産の白エビを使った料理、大きなエビのフライ定食は、シェフのオススメです。

道の駅 新湊

〒934-0049 射水市鏡宮296
Tel 0766-83-0111
Fax 0766-83-0100

- 定休日/なし
- 営業時間/物産・軽食 8:00~21:00
- レストラン 11:00~21:00 (ラストオーダー20:30)

